

令和3年度 第3回国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の施設整備検討小委員会 議事概要	
開催日時	令和3年12月22日(水) 13:30~15:30
場 所	長野市役所第一庁舎 第2委員会室
出席者	[委 員] 小山委員長、堀江副委員長、岡本委員、桐澤委員、倉田委員、古後委員、 下崎委員、正村委員、徳永委員、丸山委員 [事務局(公共施設マネジメント推進課)] 中村公有財産活用局長、柳澤課長、長谷川課長補佐、山岸課長補佐 [スポーツ課] 駒村主幹、高池課長補佐、廣瀬係長、久米田主事
議 事	(1) 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の施設整備について

【次 第】

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事

【審議事項】

- (1) 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の施設整備について

- 4 閉 会

【議事における主な意見】

- (1) 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の施設整備について

- 東京オリンピックの様にいつの間にか予算が膨れ上がっていることのないように進めていただきたい。
- 個別施設計画では長野運動公園総合体育館以外の施設は機能維持・予防保全となっており、拡充については触れていないため、補助金等を利用して、より使いやすくするための対応であることが分かれば良いのではないか。
- 現状では駐車場等も含め国スポ開催に足りないことは理解できるが、理論的に必要性を説明できるよう準備しなくてはいけない。
- リバーフロントの位置付けも考慮し、移転後の扱い等の説明が必要である。
- リバーフロントの機能移転について、天然芝は維持管理の問題から、利用制限が掛かってくるが、人工芝にすることで利用頻度が上がり、利用者も多くなり、その結果、トータルコストにも大きな差が出てくると考えられる。
- (類似施設)全体を比較しながら考えなくては、市民は納得しないのではないか。

- リバーフロントは他に場所がないため現在の場所を利用しているのであって、災害に遭えば、今まで以上に管理費が掛かる上、利用ができなくなることも含めて考えていくべきである。
- リバーフロントが不可だからという論点ではなく、競技人口や利用頻度によって、今後の利用価値が高まることも加味していただきたい。
- 長野運動公園総合体育館の建替えに当たり、アクアウィングの利用価値についても考えてもらいたい。アクアウィングは、世界水準のプールを持ちながら国際大会開催基準に不足する部分が多く非常にもったいないので、総合体育館を一体化し、アクアウィングに不足している機能を、総合体育館で補えるようにすることを検討しても良いのではないか。
- アクアウィングに限らず、他の施設も今回の整備によって国際大会開催の基準を満たすことができるようになれば、国スポ以降も大会開催による経済・観光等へのメリットが期待でき、今回の整備が無駄ではないことを示すことができる。
- 競技力向上の視点からは、夜間練習環境は一つのポイントになるが、それ以外にも市民の健康増進の意味からも大きなメリットになることから、フットボール場の整備により夜間に運動する場ができるという部分を付け加えても良いと思う。
- 飯綱町では、廃校を利用し人工芝の子供用サッカー場が整備されたが、夜間は長野市からの利用者がほとんどであることから、市内だけでなく周辺の状況も見て、施設不足の切実な現状を訴えてはどうか。
- フットボール場について長野スタジアムを含め3面必要とのことだが、国スポに向けての整備であるならば、2面で充分ではないかという声が出る可能性もある。
- リバーフロントの機能移転や3面必要であることの説明をしっかりとできるように、説明資料にもそういった部分の表現を入れた方が良い。
- 公マネの視点から、リバーフロントの将来像を視野に入れつつ、国スポのためだけの整備ではなく、長期的な考え方を示すことが必要。
- 長野運動公園総合体育館は、バリアフリーが未対応で、控室が不十分等で不足する部分が非常に多く、使い勝手が悪いので、今の状況では国スポを開催することは難しい。
- 長野運動公園総合体育館の建替えに当たり、シャワー室の整備等、選手や大会運営側の意見も取り入れ、アクアウィングと一体化して整備を行うことは、非常に良い考えである。
- 今回の国スポ・全障スポに向けた施設整備は、あくまでも通過点に過ぎず、国スポ開催後の将来のためにも、国際大会の開催基準を満たす整備が必要であることを提言に入れる必要があるのではないか。
- 施設整備に伴い個別施設計画を修正しなくてはならないが、国スポのために整備することにより、将来的な修繕費が抑えられるのであれば、そこは主張すべきであり、また、全体の修繕計画にどう影響するかを示すため、整備後の個別施設計画との整合性をまとめてもらいたい。
- (法律等に) 適合させて建てたつもりが実際は適合しなかった、また、建設して1、2年で改修が必要とならないよう、必要性和内容をきちんと整理して検討する必要がある。
- 体育館の駐車場について、今のように敷地内に分散すると面積が同じでも可能駐車台数が少なくなるので、施設整備とともに駐車場の整備もきちんとやらないといけない。
- 長野運動公園総合体育館の利用料を適正な金額にすることが必要とあるが、イメージできない。

- 長野市の社会体育館は無料で利用できるが、利用料を徴収してもいいと思う。
- 松本市や丸子町（上田市）ではどの体育館でも利用料を徴収しているので、長野市も体育館の規模や新旧に関わらずに誰でも利用しやすい料金設定とし、全ての体育館で利用料を課してはどうか。仮に新しい施設の利用料が他より高く設定しても、全ての体育館で利用料を徴収していれば、受け入れられ、利用したい人は利用すると思う。
- 市民は将来的に施設をどのように利用できるかに関心があると思うが、災害を懸念する声が多くなる中、市民が活用できる施設という部分を軸にすることで、同意も得やすいのではないか。
- フットボール場について、資料 3 に整備のメリット・デメリットを具体的に示すとあるが、夜間照明による利用時間の延長や人工芝整備により使用制限がなくなることで、競技力の向上がメリットになる。
- 長野 U スタジアム一帯で運用することができれば、大規模な大会も開催することができるようになり、サッカーに限らず経済効果の面でもメリットがある。
- デメリットとしては、リバーフロントの維持管理について考えられるが、将来的に人口減になった場合、リバーフロントを調整弁にできるため、それ程大きなデメリットには感じられないのではないか。
- 整備される施設は人が集まることができる機能を持たせるなど、多機能な複合施設として整理できればと思う。
- 千曲市で体育館が整備されたが、地元のスポーツ団体が要望していた規模よりも小さくなった結果、Bリーグの試合が開催できず、現プレイブウォリアーズがホワイトリングを利用し、（長野市拠点の）ポアルース長野が千曲市で試合を行っているが、整備する際は、中途半端なものにならないようにし、使い勝手についても配慮してほしい。
- 開催される競技のために施設が整備されるが、整備の優先順序も変わるため、開催競技以外の競技についてもケアが必要になるのではないか。
- 国スポ以降は市民の健康増進や青少年の健全育成といった目的もあるので、市は施設を整備して終わりではなく、スポーツ団体だけに任せず、一緒に施設に活気を作っていくべきである。
- 市と各団体がお互いにアクションを起こすことが必要であり、プロの団体も集客のために様々な努力をしていると思うが、信州のスポーツを盛り上げるために、市もスポーツ団体も積極的に動くべきだと思う。

【閉 会】